

# 高校生のための 大学授業体験シリーズ

## 触って、だまされて、感じる仕組みを考える

高校生無料

対面講座



日時 8月18日(木) 10:30~12:00

高校生専用講座コード 2221G114

講座名 実感・体験講座  
**触って、だまされて、感じる仕組みを  
考える**

受講料 高校生無料  
定員 高校生28名  
場所 飯田橋キャンパス  
講座形式 対面

当講座は、東京都立大学の教員による高校生のための講座です。大学で研究・教育の携わる教員が、対面式で講義します。文系・理系を問わず、ジャンルは多岐に渡りますので、興味ある講座を積極的に受講してみてください。

### 講座スケジュール

触りごちとはなんだろうか？物に触れて、何かを感じるのはなぜだろうか？触覚とはなんだろうか？こういった疑問に答える学問は、人間情報学と呼ばれる分野に含まれます。情報科学の手法で人間を深く理解し、役に立つ技術を開発しようとする学問のことです。東京都立大学のシステムデザイン学部では、多くの研究者が人の役に立つ技術の開発に従事しています。人間の感覚特性を知ることはその基本となります。

珍しい「触る錯覚(さっかく)」を体験して、ヒトの感覚の仕組みを一緒に考えましょう

- ・自分の手が豆腐のようにやわらかくなる！
- ・軽い物が重く感じられる！
- ・硬い物をやわらかく感じてしまう！
- ・自分の手の位置がまったくわからなくなってしまう！
- ・意志に反して、掴んだものが離せなくなってしまう！
- ・あんなに軽かった物が持ち上げられなくなる！
- ・皮膚が無いところに触感を感じてしまう、まぼろしの触感！
- ・左右がわからなくなってしまう！
- ・平らな面がへこんだり、膨らんだりしている！
- ・指一本で体が支えられる！

不思議な体験をどんどんしていただきます。あなたの体がもはや信じられなくなるかもしれません。これらの体験の裏にはヒトの触覚と運動感覚の仕組みが見え隠れします。なぜそうなるのか？科学はいつもそこから始まっていきます。



重く感じる箱



手が豆腐のようになる



回らない棒が回る錯覚



講師

おかもと しょうご

岡本 正吾

東京都立大学  
システムデザイン学部  
准教授  
名古屋大学客員教授

講師略歴

博士(情報科学)。  
東北大学大学院情報科学研究科で博士号を取得。名古屋大学大学院工学研究科准教授を経て、現在は東京都立大学システムデザイン研究科准教授。専門はハプティクス、人間情報学、感性科学・工学。人間の感覚と運動を情報科学の手法で理解・支援する研究を行っている。曖昧な人間の感性を計算し、感性に訴える製品とサービスづくりを支援する技術開発も推進。

※この講座はオンライン講座ではなく、**対面講座**です。